



A 試合会場レポート

試合番号 **507**開催日 **2019/05/06**

第68回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 男子 会場：丸善インテックアリーナ

観客数： 2,000	開始時間： 13:30	終了時間： 15:34	試合時間： 02:04	主審： 澤 達大	副審： 原 啓之
------------	-------------	-------------	-------------	----------	----------

パナソニックパンプサーズ

監督：川村 慎二
コーチ：古田 博幸通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

1	21	第1セット 【 00:23 】	25	3	
	25	第2セット 【 00:29 】	21		
	20	第3セット 【 00:24 】	25		
	31	第4セット 【 00:39 】	33		
	【 】				
ポイント	【 】 内はセット時間			ポイント	
-		()			
		() 内は交代選手			

サントリーサンバーズ

監督：荻野 正二
コーチ：酒井 大祐通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

サントリーさんの高い攻撃、強いサーブに苦しめられた。しかし、選手一人一人が最後まで諦めずに戦い抜いてくれた事、本当に「お疲れ様」と声をかけてあげたい。今シーズン最後負けで終わったが、次のステップアップに向け、頑張れる材料となった。次年度に向け、更なる高みを目指し、強くなって来シーズンを迎えた。本日もたくさんのご声援、ありがとうございました。又、今シーズンを通してたくさんのご声援も、ありがとうございました。来シーズンもよろしくお願ひします。

21	小宮 雄一郎 (専田 和也)	陳 建禎 ()	第1セット	藤中 謙也 ()	大宅 真樹 (加藤 久典)	25
	新 貴裕 (池田 政之)	清水 邦広 ()		小野 遥輝 (米山 達也)	塩田 達也 ()	
	ミハウ クビアク ()	白澤 健児 ()		Muserskiy Dmitriy ()	秦 耕介 ()	
リペロ： 永野 健		リペロ： 鶴田 大樹				
25	小宮 雄一郎 ()	陳 建禎 ()	第2セット	藤中 謙也 ()	大宅 真樹 ()	21
	新 貴裕 (池田 政之)	清水 邦広 ()		小野 遥輝 ()	塩田 達也 ()	
	ミハウ クビアク ()	白澤 健児 ()		Muserskiy Dmitriy ()	秦 耕介 (米山 達也)	
リペロ： 永野 健		リペロ： 鶴田 大樹				
20	新 貴裕 (池田 政之)	小宮 雄一郎 (専田 和也)	第3セット	藤中 謙也 ()	大宅 真樹 (星谷 健太郎)	25
	ミハウ クビアク ()	陳 建禎 ()		小野 遥輝 ()	塩田 達也 ()	
	白澤 健児 ()	清水 邦広 ()		Muserskiy Dmitriy ()	秦 耕介 (米山 達也)	
リペロ： 永野 健		リペロ： 鶴田 大樹				
31	白澤 健児 ()	ミハウ クビアク ()	第4セット	Muserskiy Dmitriy ()	小野 遥輝 (秦 耕介)	33
	清水 邦広 ()	新 貴裕 (池田 政之)		藤中 謙也 ()	米山 達也 (加藤 久典)	
	陳 建禎 ()	小宮 雄一郎 (山添 信也)		塩田 達也 ()	大宅 真樹 (星谷 健太郎)	
リペロ： 永野 健		リペロ： 鶴田 大樹				
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リペロ： 永野 健		リペロ： 鶴田 大樹				

<監督コメント>

今日の試合はV. LEAGUE王者であるパナソニック戦で、チャレンジャーの気持ちでスタートから頑張り、第1セットからサンバーズブレイができた。粘りあるパナソニックの攻撃にもブロックが機能し、最後は全員で戦い抜いた。選手、スタッフに感謝すると共に更なる成長が出来るように頑張る。6日間、たくさんの方の応援ありがとうございました。

<要約レポート>

連覇を狙うパナソニックパンプサーズと、4年ぶりの優勝をめざすサントリーサンバーズとの決勝戦。

第1セット、サントリーは序盤から、小野、秦のサービスエースでリードを奪う。パナソニックも清水や陳のスパイクで追いつくも、サントリーがこのセットを取る。

第2セット、中盤までパナソニックはクビアク、サントリーはムセルスキーを中心に得点を重ね、両チーム一進一退の展開であったが、パナソニックは陳のブロック、スパイクでリードを奪いセットを取り返す。

第3セット、序盤はパナソニックが清水のスパイクや小宮のサービスエースなどでリードする。サントリーは途中交代した米山やムセルスキーのスパイクで追いかける。終盤、ムセルスキーのブロック、スパイクで逆転したサントリーが、米山の連続サービスエースでこのセットを奪い返す。

第4セット、後のないパナソニックは、クビアク、清水のスパイクで16-12とリードする。サントリーは、塩田のスパイク、ムセルスキーのブロックとサービスエースで差をつめ、この試合初めてデュースに突入し、31-31からサントリーは米山のサービスエースで逆転、藤中がブロックを決め勝利し、優勝を決めた。